

まだらの風



令和6年12月11日
学校便り No.16
校長 原口 真

『 見つけよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、高めよう馬渡の力 』
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

郵便局にお勤めの保護者様から、中学3年生にメッセージ入りのキットカットをいただきました。受験に「きっと勝ってね!」との激励です。受験シーズンが近づいてきましたが、みんなが応援しているので頑張ってくださいね。

人権集会～だれもが自分らしく生きていける社会をめざして～

12月6日、人権集会を行いました。1時間目に行った中学生集会では、開会宣言を行った1年生から「一人ひとりが身近な人権課題を自分のこととしてとらえていきましょう」と集会のねらいが示され、「性的マイノリティ」「子どもに関する人権課題」「犯罪被害者やその家族の人権課題」「SNSのこわさ」の4つのテーマから発表がありました。生徒たちそれぞれが自分の関心に沿って選んだテーマについて、どんな問題なのか、具体的にどんな被害があったのか等についてスライド資料を用い、言いたいことが伝わるよう工夫して説明し、自分たちができることとして、「みんなに広げていく」「相手の気持ちに立つ」こと等が大切だと思いを述べました。



小学生集会では、「自分の好きなこと」をテーマに進められ、「抱きマクラ、顔パック、お花、ゲーム、ジャージ、腹筋ローラー」のうち、先生にプレゼントしたら喜んでくれるのはどれだろうか?を男の先生、女の先生それぞれに考えました。性別に関係なく好きなものを選んだらいいんだということや、男の仕事、女の仕事などと決めつけずに、自分らしく生きることが大切だということを体験やクイズをもとに学びました。12月4日～10日は人権週間でした。人権への意識を高め、全ての子どもが自分らしく生きていけるように学びを深めていきたいと思います。

どんぐりつまみ大会～小学1、2年生が大かつやく～

11月22日、小学1・2年生の係活動で企画した「どんぐりつまみ大会」が開催されました。2年生が作ったポスターの呼びかけで集まった20名ほどの参加者が、お皿に入ったどんぐりを制限時間内におはしでどれだけつまめるかを競います。どんぐりの形や大きさはさまざま、



先が細いおはしでつまんで移すのは失敗の連続で教室いっぱいのギャラリ一から歓声がわきます。大接戦となりましたが、30秒で18個のどんぐりをつまんだ誠也教頭先生の優勝で幕を閉じました。参加者には1・2年生手作りの松ぼっくりオブジェが配られ、みんながほっこりするイベントになりました。

年賀状書き～島のお年寄りに思いをこめて～

12月2日、中学生8名で地域のお年寄りに向けた年賀状作りを行いました。子どもたちの活動を温かく見守っていただいたり、わたしたちに郷土馬渡島についての貴重なお話を教えていただいたりと、子どもたちにとって大切な方々です。来年の干支「巳」のイラストや賀詞にひとことメッセージを添えて書きあげます。年賀状を出す習慣は次第になくなりつつありますが、子どもたちと地域をつなぐ貴重な機会として大切にしていきたいと思います。



子どもも先生も少し緊張?～研究授業でよりよい学びを～

馬渡小中学校ではすべての教員が研究授業を行っています。「のりものクイズを作ってクイズ大会をしよう」「ミステリーの面白さをポップで伝えよう」「アフリカが持続可能な発展をするために何をすべきか」などと学習のゴールをイメージし、学習計画をもとにめあてを立て、児童生徒自身の言葉で学んだことをふり返ります。先生たちが参観するのでこどもも授業者も緊張ですが、よりよい授業をめざし研究を続けます。

